



若い日。

大人への階段のよう

尚志館高3年

堀口 美祈

「大人になったね」。投票所に行くとき、投票に来た人からそう言われまじった。選挙に参加できることに、自分自身の成長を感じました。投票用紙をもらい、記入台に向かうまでの一歩一歩が、大人への階段を上っていくような気がしました。

兄も今年20歳になったため、同じく今回が初めての選挙でした。兄と私は候補者一人一人の政策をインターネットで調べ、自分たちの考えに合った政党・候補者を選びました。投票した瞬間、充実感があふれてきました。

自分の一票を「たった一票だ」と思っている人には、絶対味わうことのないもの

です。自分の意思を伝えることの大切さを教えられました。

今はまだ選挙権を持っていない人も、数年後には確実に選挙の機会が訪れます。そのときに備えて今のうちから、社会に対してアテンナを張り、政治や日本の将来のことについて、考えておく必要があると思います。これからの社会の

担い手として、一人の有権者として責任ある一票を投じていきたいです。

(志布志市)